

◆協会紹介

正式名称:一般社団法人日本環境測定分析協会 (略称:日環協、JEMCA)
(Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association)

<定款・第2章 目的及び事業 より>

(目的)

第3条 本会は、環境に係る計量証明又は計測(以下、「環境測定分析」という。)に関する知識及び技術を普及し、環境計量士をはじめとする環境測定分析に携わる者の資質を高めるとともに、環境測定分析事業の適正な管理の推進を図ることにより、環境測定分析に対する社会的な信頼性を高め、もって、環境の保全に寄与し、国民経済の健全な発展と公共の福祉の増進に貢献することを目的とする。

(事業)

第4条 (※抜粋)

- 関係情報や調査研究成果の提供・普及
- 資質向上を図るための教育研修、知識/技術の評価、資格認定
- 標準等の作成・普及、技能試験等の精度管理

■会員数(2025年3月末現在)
正会員 487/賛助会員 179

■支部
北海道、東北、関東、中部、関西、中国・四国、九州



本部JEMCAビル (東京都江戸川区)

◆時代とともに歩む日環協

年代	国の動向	日本環境測定分析協会の動向
【創成期】 ～昭和50年	昭和43年 大気汚染防止法制定 昭和45年 水質汚濁防止法制定 昭和46年 環境庁発足 昭和49年 計量法改正(環境計量証明事業登録制度及び環境計量士制度)	昭和48年 公害分析業者懇談会開催 昭和49年 日本環境測定分析協会設立 大気/水質/騒音振動測定分析技術委員会 昭和50年～ 大気/土壤/水質/騒音振動技術委員会
【成長期】 昭和51～63年	※各種環境測定分析公定法の制定・改正	昭和54年～JIS見直委員会 昭和55年～各種測定マニュアル作成委員会
【成熟期①】 平成元年～30年	平成 5年 環境基本法制定 平成14年 特定計量証明事業制度導入 平成18年 安衛法改正(アスベスト禁止) 平成23年 福島第一原子力発電所事故	平成15年～極微量物質研究会(UTA研) 平成22年～アスベスト分析法委員会 平成24年～放射能測定分析技術研究会
【成熟期②】 令和元年～	令和2年 ヘリウム危機、国連環境計画(UNEP) マイクロプラスチック等専門家会合	令和2年～ヘリウム代替ガス研究委員会 令和3年～マイクロプラスチック測定法WG 令和6年 告示分析法等改正に向けた「告示分析法等改正戦略会議」立ち上げ。環境省との継続的な意見交換会の実施を決定。 令和7年 水質汚濁に係る環境基準における農薬類の公定法(告示第59号付表5及び付表6)にLC-MS法等の追加に資する事業を推進すべく、「農薬類LC-MS法検討専門委員会」の設置に向けた会員募集を実施。



セミナー・研修会



分析実技講習会



関係団体との交流



国の環境計量事業サポート



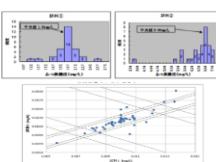
調査研究



会報誌 (毎月発行)



極微量物質研究会
(セミナー)



精度管理事業

◆各事業のご紹介

◎精度管理事業

<信頼性確保のための精度管理>

1)技能試験(日環-xxx)

毎年度5回、水中の重金属・農薬・生活環境項目等やガス中の成分分析等の測定分析項目を配付して、参加試験所から報告された分析値を統計解析

2)SELF(Aalytical Data Self Control Member)

自ら測定分析した分析値について自己診断し精度管理を行うためのものであり、毎年度4回、様々な測定項目に係る試料を配付

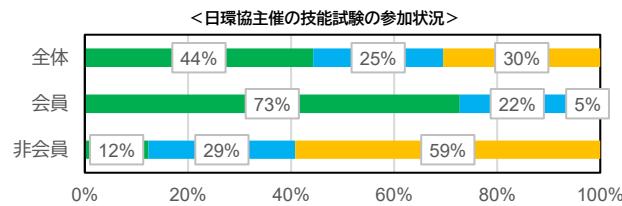
3)アスペスト技能試験

- ・建材中のアスペスト定性分析技能試験(試験所対象)
- ・建材中のアスペスト定性分析技能試験(技術者対象)
- ・位相差顕微鏡によるアスペスト纖維計数技能試験

4)その他

- ・NITE指名に基づくダイオキシンに係るMLAP技能試験
- ・UTA研主催クロスチェック(ダイオキシン類、PCB)
- ・RADI研主催クロスチェック(放射能測定)
- ・UILI-ILP(国際試験所間比較試験)

<2025年度技能試験実施予定表>		
試験番号	分析対象	実施時期
日環-127	水中の金属分析	2025年 6/23・ 6/24
日環-128	水中の生活環境項目試験	2025年 7/14・ 7/15
日環-129	水中の陰イオン分析	2025年 8/25・ 8/26
日環-130	水中の富栄養化成分分析	2025年 11/17・ 11/18
日環-131	土壤汚染対策法における重金属の含有量試験	2026年 1/26・ 1/27



■毎回参加 ■必要に応じて参加 ■参加したことがない
出典: 2023年度 環境計量証明事業者(事業所)の実態調査報告書(日環協)

◎教育研修事業

1)全国セミナー

- ・環境セミナー全国大会／経営セミナー全国大会

2)新任者教育

- ・環境計量の仕事／労働安全衛生／精度良い測定のために(サンプリング・化学分析・機器分析・測定値管理)／騒音・振動

3)分析実務研修会

- ・COD Mn／環境基準項目

4)アスペスト偏光顕微鏡実技研修

- ・建材定性分析コース／エキスパートコース

5)技術研修会

- ・GC-MS／LC-MS／ICP-MS

6)計量管理講習会

- ・濃度／騒音・振動

7)委員会・研究会主催セミナー

- ・UTA研／RADI研／能力向上推進委員会



◎資格認定事業

<環境測定分析士／環境騒音・振動測定士>

1)目的

環境測定分析技術者の能力・技術力を評価～プロフェッショナルの資格～

2)試験の種類

- ① 環境測定分析士(1級/2級/3級)
→1級及び2級は専門分野別(一般項目/金属/有機物/極微量物質)

- ② 環境騒音・振動測定士(上級/初級)

3)合格者実績

①環境測定分析士

1級 52名(107名)／2級 567名(989名)／3級 4,210名(7,101名)

②環境騒音・振動測定士 上級 26名(40名)／初級 635名(977名)

合格者合計 5,490名(9,214名)

※()内は受験者数を示す 2024年7月現在

